

曾我祐準 孫 陸軍軍人。天保十四年十一月二十五日筑後國生乳、
昭和十年十一月二十日歿（八四—一九三五）。幼名辰之助、龜之助、龜次
郎、準造。舊柳河藩士。慶應元年長崎へ、西洋砲術を修得、四年蒲艦千
別丸艦長。明治十四年谷千城・鳥尾小彌太・三浦梧樓と共に國會開設
（官選議員制）を上奏。十六年中將。豫備役後、東京大夫、宮中顧問
官、貴族院議員、極密顧問官、日本鐵道會社社長等歴任。子爵。

著書 『軍備要論』（明治二十二年十一月六日小笠原長奇編刊『華族同
方會報告』第一号第十号附録）、『安東省庵』（合著・安東省庵記
念會編、大正二年六月十五日福岡・安東省庵記念會事務所）、『熱海
と五千名家』（合著・齊藤和堂編著、大正九年十一月二十日福岡・富
永寛明刊、精利堂發賣）等。

